

目標達成計画

作成日: H26年3月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	5つの介護目標の具体的な意味を職員研修などで話し合い、解釈を共有し日々のケアに反映される事を期待したい。	職員の介護の知識、質の向上を図るために、常に介護理念を行動規範として取り込んでいく。開設10年に向け理念の見直しについても職員全員で取り組んでいく。	①一年間の研修計画を立て、職員研修を実施する。 ②外部研修を職員に提供し、参加を促す。又、参加者より、後日伝達講習を行う。	12ヶ月
2				③理念の見直しについて、アンケート、職員会議などで意見交換し、ホーム全体で取り組み新しい理念、目標を作成する。	12ヶ月
3	4	課題やテーマを決めて、地域代表の委員を具体的な改善等を話し合うことで、より効果的で意義のある運営推進会議になると思われる。	安全・安心の空間を提供できるように災害時の対応と対策に取り組む。	①ホームで行っている事を常に地域へお知らせし地域への説明を行う。 ②定期的な避難訓練を行い、地域への協力を得ながら、災害時の入居者の保護に努める。	12ヶ月
4				③消火活動に支障のない避難場所への移動訓練を行い、問題点を見つける。 ④問題点があれば解決の為に地域、ホームで話し合いを行い協力をお願いし、訓練を行う。	12ヶ月
5			推進会議に地域、ホームの課題が積極的に話し合えるように進行方法構成員について検討し効果的な推進会議が出来るように工夫する。	①会議のテーマを決めて具体的に話し合う。 ②構成員はホームの立地場所も考え、隣接する地区にも参加をお願いしていく。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。